



道民の暮らしと経済を
全力で守ります！

北海道議会議員

滝口直人

た き ぐ ち な お と



道政だより

令和2年秋号

ごあいさつ

北斗市民の皆さま、いつも大変お世話になっております。

新型コロナウイルスにより道民生活、道内経済が大きな打撃を受け、大変な状況になりました。医療現場でご尽力いただいている皆さまに改めてお礼を申し上げます。

7月の道議会では道の緊急対策を盛り込んだ総額3677億円(過去最大)の今年度補正予算を速やかに審議し、成立させることができました。今後も市民の命と生活を守り抜くという観点から、感染拡大防止、中小企業・小規模事業者への支援強化により経済活性化を図り、国や道、市町村と一丸となって、きめ細やかな対策に努めていきます。

地域の皆さまとの絆を大切にしながら、「輝き続ける北斗」の実現をめざし、人口減少をはじめとする道政課題にも全力で取り組んでまいります。

皆さまのより一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

北海道議会議員 滝口 直人

新型コロナウイルスによる100年に一度ともいわれる国難から、道民生活と道内経済を守るために、緊急対策をしっかりと進めてまいります。

「条例検討会」事務局次長として奔走 「北海道花き振興条例」が成立

6月の第2回定例会に、自民党・道民会議議員会が単独で議員提案した「北海道花きの振興に関する条例」が可決、成立しました。

「花き条例」は、花き産業の持続的発展や、道民に花き生産について理解を深めてもらうことを目的としており、毎年8月7日を「北海道花の日」とすることも盛り込まれています。議員提案条例検討会の事務局次長を私が務め、生産者の要望を条例案に反映させるなどして検討を重ね、6月2日に村田憲俊議長に条例案を提示しました。

コロナ禍で気分も沈みがちな今だからこそ、花を上手に生活に取り入れ、花き生産をみんなで応援しましょう。



滝口直人プロフィール

- 昭和30年 上磯町生まれ
- 昭和43年 上磯小学校卒業
- 昭和46年 上磯中学校卒業
- 昭和49年 北海道函館中部高校卒業
- 昭和54年 小樽商科大学商学部卒業
- 現在、道議会自民党、道民会議政策審議委員、農政常任委員、人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員、党道連副幹事長など
- 趣味：読書 ●尊敬する人：両親 ●好きな言葉：誠実
- 平成14年 上磯町総務課長
- 平成18年 北斗市総務課長
- 平成20年 北斗市市民部長
- 平成22年 北斗市副市長
- 平成31年 北海道議会議員に初当選

北海道議会議員 滝口直人事務所

〒049-0161 北斗市飯生^{いなり}2丁目8-1 アピアビル1階D号室
TEL(0138)86-5518 FAX(0138)86-5519
E-mail : takiguchijimusyo@hotmail.or.jp

道政報告

令和2年第2回北海道議会定例会 予算特別委員会

コロナ禍での道政課題への対応を鋭く迫る!

6月に行われた予算特別委員会で質問に立ち、新型コロナウイルスで影響を受ける本道の重要課題について、道理事者の見解をたどりました。

【建設部所管】

河川の整備等について

質問要旨 市民は大雨警報が発令されれば避難生活を送らなければならないという不安から、1日も早い河川整備を要望している。中小河川の整備、適切な維持管理に努めるべきと考えるが、どう対応していくのか。

答弁要旨 防災・減災対策の拡充、地方負担の軽減を国に求めるなどして、中小河川整備を一層推進するとともに、国の予算や制度を最大限活用して、水害に強い北海道づくりに取り組む。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う住宅支援について

質問要旨 新型コロナウイルスの影響により多くの人の所得が減少する中、公営住宅の果たす役割はますます大きくなるものとする。住宅に困窮している方々に対し、今後どう対応していくのか。

答弁要旨 道営住宅への入居相談や応募状況を注視するとともに、住まいの確保に努め、高齢者や子育て世帯など、誰もが安心して暮らすことのできるセーフティネットとして、取り組みを進めていく。

【水産林務部所管】

北の森づくり専門学院の運営について

質問要旨 4月に「北の森づくり専門学院」が旭川市で開校した。今年度入学者は定員の40名を若干下回ったが、将来的に林業・木材産業の中核を担う人材を輩出するため、積極的なPRが必要と考える。入学生の確保にどう取り組むのか。

答弁要旨 テレビ・ラジオや新聞、SNSなど多様なツールを活用し、積極的に発信し、オープンキャンパスや道内外でのPRキャラバンの開催、森林科学科を有する農業高校への訪問、学校説明会の開催などに取り組んでいく。

水産業の緊急対策について

質問要旨 政府の緊急事態宣言により休業の動きが広がったことで、水産物の売り先がほとんどなくなり、価格が急落した。水産物の新たな販売戦略を構築することが漁業収入の安定化につながるが、戦略の見直しに関する所見を伺う。

答弁要旨 長期保存と生食が可能な付加価値の高い冷凍水産物の普及を図るとともに、道漁連が実施する大手検索サイトへの広告宣伝事業に支援し、働き方や消費行動等の変化も踏まえながら消費拡大に取り組んでいく。

「新型コロナ対策本部」が合同会議

道議会自民党・道民会議議員会の「新型コロナウイルス感染症対策本部」は6月、札幌で数度にわたり合同会議を開き、国や道の新型コロナ対策について意見交換しました。滝口直人も出席し、医療体制の強化、観光業を支援する「どうみん割」の拡充などに関し、活発な議論が展開されました。今後も感染防止と経済再生の両立に向けて、全力で取り組んでまいります。



北海道水産業・漁村振興推進計画について

質問要旨 コロナ禍により世界の食料流通体制が崩れる中、国内の水産物供給に占める本道の役割はますます大きくなるものとする。国内に向けた水産物の安定供給について、どう取り組んでいくのか。

答弁要旨 栽培漁業の推進や担い手の育成確保、ライフスタイルの変化に対応した魚食の普及などに取り組んできた。今後も漁業生産の安定と水産物の消費拡大に向けて取り組んでいく。

漁協支援の取り組みについて

質問要旨 漁業者や地域に貢献している漁業協同組合も、感染症の影響により厳しい経営を強いられている。安定経営を維持し、本道水産業の振興に寄与できるよう、適切に支援を行う必要があると考えるがどう対応していくのか。

答弁要旨 融資の実質無利子化による資金繰り確保、資源の維持・増大に向けた取り組み支援のほか、漁協の支援について国に引き続き要請を行っていく。

【経済部所管】

道産ワインの振興について

質問要旨 道では道産ワインを成長産業のひとつとして強力で推進しているが、新規参入者にとって事業が軌道に乗るまでには、道の支援が必要になると考える。ワイン産地の形成に向けてどのように取り組んでいくのか。

答弁要旨 ワイナリーや研究機関との意見交換会では、気象・土壌に合わせたブドウ品種の選定が重要であることや、栽培・醸造技術に関する情報提供に取り組むべきだとの意見が寄せられた。品種別データベースの構築、情報提供方法の検討などを行っていく。

産業振興政策について

質問要旨 新型コロナウイルスは積雪寒冷な気象条件など、本道にとって課題とされていた前提条件を新しい角度から見直す契機となっている。ポストコロナ時代を見据え、どのように産業振興政策等を展開していくのか。

答弁要旨 オフィスやワーケーションの誘致、国際的なサプライチェーンの再編の動きも捉えた生産拠点の誘致など、ビジネスチャンスを的確に取り込み、本道経済の活性化につなげていく。

その他の質問項目

農政委員会

- 新たな「食料・農業・農村基本計画」について
- 新型コロナウイルス感染症の影響について



政策審議委員会の視察で空知・石狩地域の企業を訪問。石狩湾新港では洋上から港内の開発状況を調査。